

プラスチック成形加工学会第22回秋季大会 「飛翔のトキー日本から世界に羽ばたく成形加工」

情報 URL <http://www.jspp.or.jp/>

第22回の秋季大会は新潟県新潟市で開催いたします。本秋季大会では、「飛翔のトキー日本から世界に羽ばたく成形加工」と銘打ち、プラスチック成形加工発展の鍵となる研究発表と議論の場を提供します。行事内容として、2件の特別講演、4分野の特別セッション、一般セッション、地域セッション、ポスターセッション、懇親会などを予定しています。

みなさまの積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。なお詳細は、学会 Web サイトにて逐次お知らせしてまいります。

1. 日 時：2014年11月14日(金)、15日(土)

2. 会 場：朱鷺メッセ

〒950-0078 新潟県新潟市万代島6番1号

■新潟駅から

・万代口より徒歩約20分

・万代口よりバス約15分

バス乗り場5番

佐渡汽船行 朱鷺メッセ下車すぐ

・タクシーで約5分

■新潟空港から新潟駅

・空港連絡リムジンバス

新潟空港→新潟駅は約25分

■新潟空港から

・タクシーで約20分

会場についての詳細は朱鷺メッセホームページ

<http://www.tokimesse.com/>をご

参照下さい

3. 主 催：プラスチック成形加工学会

4. 協 賛 (予定)：新潟大学、化学工学会、型技術協会、強化プラスチック協会、高分子学会、自動車技術会、精密工学会、繊維学会、全日本プラスチック製品工業連合会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本接着学会、日本繊維機械学会、日本塑性加工学会、日本バイオプラスチック協会、日本複合材料学会、日本プラスチック機械工業会、日本レオロジー学会、マテリアルライフ学会、SPE 日本支部、新潟県プラスチック工業振興会、

5. 内 容 (予定)：

5.1 特別講演

・学術講演

「Bioplastic : Industrial Development in Korea」

漢陽大学 (韓国) 教授 Seung Soon Im 先生

・文化講演

「食品包装にイノベーションをもたらすプラスチック材料」

越後製菓(株)代表取締役会長 山崎 彬先生

5.2 特別セッション

(以下、【 】内はセッションオーガナイザー)

・特別セッションI

「複雑流体の流動現象とレオロジー」

【高橋 勉 (長岡技術科学大学)、服部高明 (日本ポリエチレン)、梶原稔尚 (九州大学)】

レオロジーは単純な流れ場で評価した流動特性をもとに複雑流体の挙動を明らかにし、様々な流れ場における流動を正確に予測することを目的のひとつとしています。しかし、高分子材料は非線形的な粘弾性特性を有し、流動によるミクロ的・マクロ的な構造変化や相変化、フィラー添加による異方性の発現なども生じるためレオメータで評価した粘度曲線だけで成形加工時の流れ場を正確に予測することは困難です。レオメータによる単純な流れ場で得られた流動特性だけでは評価できない複雑な試料、複雑な流れ場など、成形加工に関する諸問題とレオロジーの関係について議論し、レオロジーの重要性を再認識したいと思います。

・特別セッションII

「ゴム・エラストマー」

【河原成元 (長岡技術科学大学)、山本祥正 (東京工業高等専門学校)、西谷要介 (工学院大学)】

ゴム・エラストマー材料は、生ゴム (原料ゴム) を架橋して作られる三次元網目高分子であって、外力により変形しても負荷を取り除くことにより瞬時に元の形に戻る特徴があります。このゴム弾性に加えて、生ゴムに固有の粘弾性がゴム・エラストマー材料の特性を決めるといっても過言ではありません。これらの特性を実用に供するに当たっては、カーボンブラックやシリカ等のナノ粒子を分散させるための配合工程、ゴムや樹脂等のポリマーをブレンドする混練工程、成形工程および架橋工程といった高度な成形加工技術が要求されます。それ故、ゴム・エラストマー材料に関する成形加工技術に関し、最新の研究成果に関する情報交換および意見交換を行うことが強く求められています。本セッションでは、ゴム・エラストマー材料に関わる

発表を広く募集し、新しい科学および技術とこれに伴う工学新領域を開拓していくことで、全く新しい視点による成形加工技術につながる討論を進めたいと考えています。

・特別セッションⅢ

「自然に学ぶ成形加工」

【魚津吉弘（三菱レイヨン）、奥崎秀典（山梨大学）、三俣哲（新潟大学）】

持続可能社会の実現を目指して、ネイチャーテクノロジーやバイオミメティクスと呼ばれる自然に学ぶものづくりが、再び脚光を浴びています。以前より注目されてきた人工筋肉などのアクチュエータやセンシングなどに代表されるロボティクスを指向した機械系分野や人工光合成や人工酵素などの化学系分野は現在でも活発に取組まれています。一方、近年電子顕微鏡技術の進化をベースに進展が著しいナノテクノロジーを駆使し、蛾の眼の反射防止機能、蓮の葉の撥水機能に代表される生体表面のナノ・マイクロ構造に学ぶ材料系分野での研究も盛んになっています。しかしながら「自然の技術体系」を実際に工学技術に移転できた例はわずかです。様々な分野の研究者が集う当学会において、自然に学ぶプラスチック材料の設計・開発の可能性について議論を行いたいと考えています。

・特別セッションⅣ

「トキめきつながる北信越の成形加工」

【亀田隆夫（三光合成）、佐藤 隆（日本ゼオン）、岡田哲朗（富山県プラスチック工業会）】

新潟県を中心とした北陸・信越地域は、精密な金型や成形加工業が盛んなところ。また、これらを支える成形機やその周辺機器メーカーも存在し、その中で、多くの商品が生み出されています。来年にはこの北信越地域が新幹線開業によりさらに強く結ばれるようになります。そこで、この地域の現場を支える企業や公設試の成形加工についてのユニークな取り組みを語り合いたいと思います。北陸・信越地域の皆様からの様々な発表を期待しています。

5.3 一般セッション

1. 射出成形
2. 押出成形・混練
3. ブロー成形・熱成形
4. 紡糸・フィルム成形
5. 熱硬化成形・反応成形
6. 超臨界流体・発泡技術

7. マイクロ・ナノ成形
8. アロイ・ブレンド・複合材料
9. リサイクル
10. 工業レオロジー
11. 成形機・周辺技術
12. 二次加工
13. 構造・物性・評価
14. CAE
15. その他

5.4 地域セッション

【明歩谷英樹（新潟県工業技術研究所）、水野 渡（富山県工業技術センター）、吉村治（金沢工業大学）、雲竜 常宗（福井県工業技術センター）、久松徳郎（山形銀行）、依田俊明（日精樹脂工業）】

北陸・信越地区を地盤として、成形加工および関連分野で優れた技術を有する企業が一堂に会するセッションを予定しています。

5.5 ポスターセッション

【安田 健（東京都立産業技術研究センター）、大槻安彦（プライムポリマー）、中野涼子（福岡大学）、斎藤 浩（新潟大学）】

本大会も、発表者と大会参加者の活発なコミュニケーションの場として、ポスターセッションを設けます。また、審査委員の審査により優れた若手ポスター発表（2014年4月1日現在で35才以下）を対象としたポスター発表に対して「ベストポスター賞」の表彰を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

6. 講演申込等のスケジュール（予定）：

- ①講演申込締切：2014年7月4日（金）
- ②前刷原稿締切：2014年9月19日（金）
- ③事前参加申込締切：2014年10月24日（金）

7. 問い合わせ先：

第22回プラスチック成形加工学会秋季大会
（成形加工シンポジウム'14新潟）実行委員会

E-mail：sympo2014@jspp.or.jp

委員長：鳴海 敬倫（新潟大学）

代表幹事：山内 健（新潟大学）



信濃川に臨む朱鷺メッセ



豪農の館－北方文化博物館